

## 線形代数 I 演習

- 第 2 回 平面ベクトルの幾何学的意味, 内積, 複素平面 -

担当: 佐藤 弘康

基本問題 以下のことを確認せよ (定義を述べよ) .

- (1) 「平面の点  $A$  の位置ベクトル」とは?
- (2) ベクトルの和, スカラー倍はどのような幾何学的意味があるか?
- (3) 「平面ベクトルの内積」とは?
- (4) 「複素平面」とは?
- (5) 「複素数の絶対値, 偏角」とは?
- (6) 「共役複素数」とは?

問題 2.1. 次のベクトル  $u, v$  に対し, ベクトルの長さ  $\|u\|, \|v\|$  および内積  $(u, v)$  を計算し,  $u, v$  のなす角を求めよ .

$$\begin{aligned} (1) \quad u &= \begin{pmatrix} \frac{1}{2} \\ 1 \end{pmatrix}, \quad v = \begin{pmatrix} -4 \\ 2 \end{pmatrix} & (2) \quad u &= \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \end{pmatrix}, \quad v = \begin{pmatrix} -3 \\ 6 \end{pmatrix} \\ (3) \quad u &= \begin{pmatrix} \sqrt{3} \\ -1 \end{pmatrix}, \quad v = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 - \sqrt{3} \end{pmatrix} & (4) \quad u &= \begin{pmatrix} \cos \theta \\ \sin \theta \end{pmatrix}, \quad v = \begin{pmatrix} \cos \varphi \\ \sin \varphi \end{pmatrix} \end{aligned}$$

問題 2.2. 平面ベクトル  $a$  は, 基本ベクトル  $e_1, e_2$  を用いて

$$a = (a, e_1)e_1 + (a, e_2)e_2$$

と表せることを示せ .

問題 2.3 (レポート問題).  $f_1, f_2$  を  $\mathbb{R}^2$  の基底で

$$\|f_1\| = \|f_2\| = 1, \quad (f_1, f_2) = 0 \tag{2.1}$$

を満たすとする . このとき, 任意の平面ベクトル  $a$  は,

$$a = (a, f_1)f_1 + (a, f_2)f_2$$

と表せることを示せ .

Note : (2.1) 式を満たす基底のことを 正規直交基底 と呼ぶ .

問題 2.4.  $a, b$  を平面ベクトルとする . もし,  $\|a\| = \|b\|$  ならば,  $a + b$  と  $a - b$  は直交することを示せ .

問題 2.5.  $A, B$  を平面内の点とし, それぞれの点の位置ベクトルを  $a, b$  とする. このとき, 三角形  $OAB$  の面積は

$$\frac{1}{2} \sqrt{\|a\|^2 \|b\|^2 - (a, b)^2}$$

に等しいことを示せ.

問題 2.6.  $a, b$  を平面ベクトルとするとき,

$$\|a + b\|^2 + \|a - b\|^2 = 2(\|a\|^2 + \|b\|^2) \quad (2.2)$$

が成り立つことを示せ.

例題 1 の 3 乗根を求めよ.

解. 1 の 3 乗根とは, つまり,  $z^3 = 1$  を満たす  $z$  のことである. したがって,

$$0 = z^3 - 1 = (z - 1)(z^2 + z + 1)$$

であるから, 1 の 3 乗根は  $1, \frac{-1 \pm \sqrt{3}\sqrt{-1}}{2}$  である.

問題 2.7. 次の複素数を計算せよ.

(1)  $\sqrt{-1}$  の 4 乗根      (2)  $-1$  の 6 乗根

問題 2.8. 次の複素数を  $r(\cos \theta + \sqrt{-1} \sin \theta)$  ( $= re^{\sqrt{-1}\theta}$ ) の形で表せ. ただし,  $r$  は正の実数とする.

(1)  $\sqrt{-1}$       (2)  $-5$       (3)  $\sqrt{3} + 3\sqrt{-1}$

問題 2.9.  $z = a + \sqrt{-1}b$  ( $a, b$  は実数) に対して,

(1)  $\frac{z}{1+z^2}$  が実数になる条件を求めよ. ただし,  $b \neq 0$  とする.

(2)  $z^4$  が実数になる条件を求めよ. ただし,  $a^2 \neq b^2$  とする.

問題 2.10. 次を証明せよ.

(1)  $z \in \mathbf{C}, a \in \mathbf{R}$  に対して,  $\arg(az) = \arg(z)$ .

(2)  $z \in \mathbf{C}$  に対して,  $\arg \bar{z} = -\arg z \pmod{2\pi}$ .

(3)  $z, w \in \mathbf{C}$  に対して,  $\arg\left(\frac{z}{w}\right) = \arg z - \arg w \pmod{2\pi}$ .

問題 2.11.  $z, w \in \mathbf{C}$  に対して,  $\bar{z}w + z\bar{w} = 0$  と  $\arg z - \arg w = \frac{\pi}{2} \pmod{2\pi}$  は同値であることを証明せよ.

問題 2.12.  $(2 + \sqrt{-1})(3 + \sqrt{-1}) = 5(1 + \sqrt{-1})$  を確かめ, そのことを使って  $\tan^{-1}\left(\frac{1}{2}\right) + \tan^{-1}\left(\frac{1}{3}\right) = \frac{\pi}{4}$  を示せ (ただし,  $\tan^{-1}$  は  $y = \tan x$  の逆関数).